

来月の消費予報

物価高の影響が続き、消費意欲指数は女性を中心に低下し 1月としては過去5年の最低値に

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※12月1～5日に調査(詳細はP5)
2023年1月の消費意欲指数は47.9点。前月比は-6.5pt、前年比では-3.5ptと、いずれも大きく低下しました。

1月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

-6.5 ポイント

-3.5 ポイント

■ 前月比/前年比で上昇 ■ 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか？」と質問。

カテゴリー別 消費意向



★ UP: 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN: 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(1月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか？」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

1月のポイント

Point1: 消費意欲指数は、女性を中心に例年1月以上に低下

クリスマスや年末を終えた1月は、例年消費意欲指数が低下する月です。今年も前月比は-6.5ptと大幅に低下し、前年比でも-3.5ptの低下となり、1月として過去5年の最低値となりました。さらに、男女別で見ると、前月比では男性-3.8pt、女性-9.2ptと大きな差があり、女性の消費意欲の低下が目立つ結果となっています。

消費意欲指数の理由(OA)をみると、前月と比べて消費にポジティブな回答(12月557件→1月394件)は減少し、ネガティブな回答(12月717件→1月867件)が増加しています。具体的にポジティブな回答では、「セールがある・安売り・福袋(12月32件→1月120件)」が増加しているものの、「(新年・正月など)季節的な意欲向上(12月303件→1月104件)」や「(ボーナスなど)金銭的余裕がある(12月79件→1月31件)」が大幅に減少しています。ネガティブな回答では、「今月までに多く使った反動で節約(12月27件→1月87件)」が増加しており、1月らしい動きになっています。加えて今年は、「物価高・値上げ・円安(12月139件→151件)」が前月から引き続き高い水準となっており、男女別にみると、女性で増加しています(男性:12月63件→1月61件/女性12月76件→1月90件)

また、前年と比べても、消費にポジティブな回答(22年1月442件→23年1月394件)は減少し、ネガティブな回答(22年1月830件→23年1月867件)がやや増加しています。具体的にポジティブな回答では、「(新年・正月など)季節的な意欲向上(22年1月137件→23年1月104件)」が減少し、ネガティブな回答では、「物価高・値上げ・円安(22年1月13件→23年1月151件)」が大幅に増加しています。

クリスマスや年末の反動による節約意識の高まりに加え、物価高の影響も重なり、1月の消費意欲は女性を中心に例年より低下しそうです。

Point2: 消費意向は幅広いカテゴリーで前月比、前年比ともに減少

「特に買いたいモノ/利用したいサービスがある」人の割合は28.3%。前月比で-8.3pt、前年比は-1.7ptと、ともに低下しました。16カテゴリーの消費意向をみると、前月比では「食品」「外食」「ファッション」「飲料」など10カテゴリーで20件以上減少しています。前年比でも「ファッション」「インテリア用品」「食品」など7カテゴリーで20件以上減少しています。

消費意向が前月と比べて幅広いカテゴリーで減少するのは例年1月の特徴ですが、今年は前年比でも伸び悩みそうです。

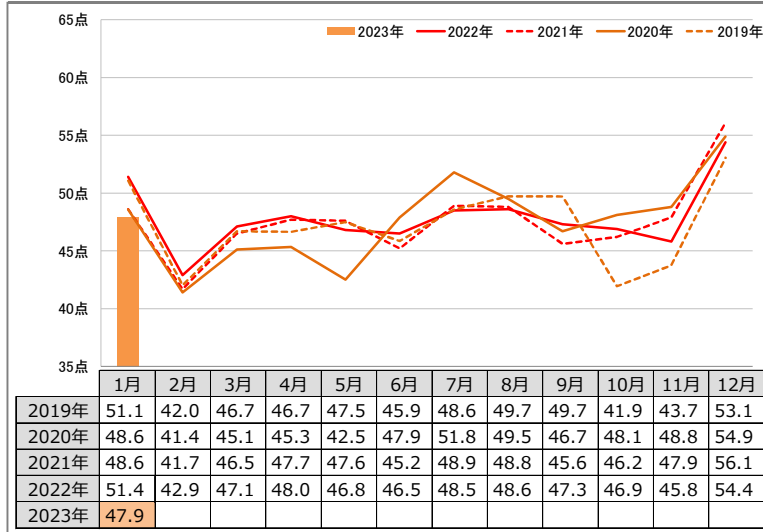
補足資料①

消費意欲指数

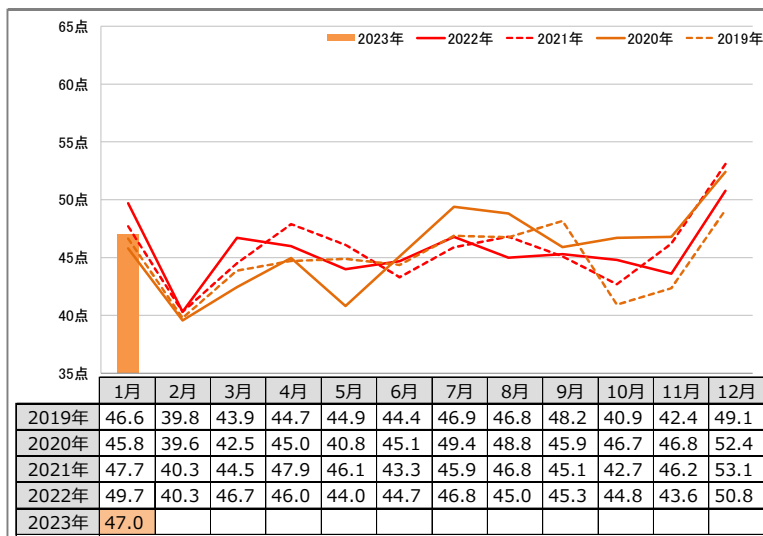
■ 時系列グラフ

Q.消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

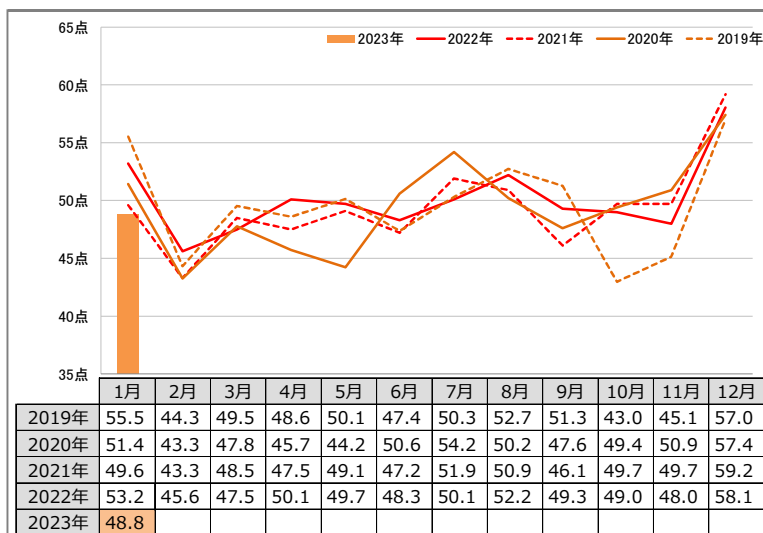
【全体】



【男性】



【女性】



補足資料②

消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						(pt)	
	22年8月	22年9月	22年10月	22年11月	22年12月	23年1月	前月比	前年比
全体	48.6	47.3	46.9	45.8	54.4	47.9	-6.5	-3.5
男性	45.0	45.3	44.8	43.6	50.8	47.0	-3.8	-2.7
女性	52.2	49.3	49.0	48.0	58.1	48.8	-9.2	-4.4
20代	52.5	51.1	48.1	49.7	56.9	51.4	-5.5	-2.0
30代	48.1	46.5	49.8	47.2	56.8	49.2	-7.6	-4.2
40代	45.6	46.4	45.0	44.4	55.1	44.4	-10.7	-8.1
50代	48.8	44.4	44.0	44.4	51.0	47.5	-3.5	-0.2
60代	49.0	49.6	49.1	44.0	52.7	48.4	-4.3	-2.4

■ +3pt以上の増加
■ -3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q.(消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【今月までに多く使った反動で節約】>

- ・今年色々買ったから(20点・男性27歳・東京都)
- ・11月～12月の出費が多くなり、欲しい物も粗方買い終える予定だから(0点・男性38歳・大阪府)
- ・今年の後半にかなり色々な物を購入し、散財したので(20点・男性48歳・愛知県)
- ・年末に出費がかさむことが予想されており、1月については支出を抑えたい。また、電気代等の経費が高くなっていることも、支出を抑えたい要因の一つ(30点・男性51歳・東京都)
- ・11月にたくさん購入したから(20点・男性62歳・岐阜県)
- ・年末に通販で購入することが多かったため、1月は出費を抑える傾向になると思うから(20点・女性27歳・大阪府)
- ・12月にクリスマスやお正月の用意で準備する物が多いので、その分、購買欲は抑えると思う(30点・女性35歳・大阪府)
- ・今月たくさん買ったから、来月は節約(0点・女性48歳・愛知県)
- ・正月明けで散財しているから(30点・女性54歳・千葉県)
- ・12月でお金を使うから1月はあまり使わない(20点・女性65歳・神奈川県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【物価高・値上げ・円安】>

- ・物価高が止まらないため(0点・男性25歳・神奈川県)
- ・値上がり続きで家計が厳しい。余計な物を買う余裕がない(30点・男性39歳・愛知県)
- ・年末年始に旅行による支出が予定されていることに加え、今冬には電気・ガスの利用料金の値上げや食料品の値上げが想定されることから来年1月はできるだけ消費を抑制して過ごそうと考えているため(15点・男性48歳・千葉県)
- ・原材料・光熱費の高騰で見通しが立たないので(30点・男性55歳・大阪府)
- ・物価が高騰し、物を買いたいと思わない(30点・男性65歳・大阪府)
- ・様々な物の価格が高騰しており、生活に不安があるため、余裕がないから(40点・女性25歳・神奈川県)
- ・電気代や様々な物の値上がりが予想されるので、節約(30点・女性31歳・愛知県)
- ・来年2月から更に色々な物が値上がりするため、昔より必要な物を吟味して買うため。また、今のところ、欲しい物がないため(30点・女性46歳・大阪府)
- ・1月以降も品物の値上げ等があるため、必要なお金は貯えておかないといけないから(40点・女性54歳・東京都)
- ・収入が少ないのに、物価高騰が止まらない(10点・女性69歳・愛知県)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(11月4日～7日)後より今回調査(12月1日～5日)まで

11月上旬	全国新規感染者数は1週間平均で1日あたり6万人前後
11月22日	国産初の新型コロナの飲み薬、厚生労働省の専門家会議が使用を承認
12月上旬	全国新規感染者数、1週間平均で1日あたり10万人台へ増加

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q.あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2023年1月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	28.3	-8.3	-1.7
男性	27.0	-5.5	-0.7
女性	29.7	-11.0	-2.6

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q.特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(425人)

参考:男性(203人)

参考:女性(222人)

順位	カテゴリー	1月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	213	-52	-40
2	食品	197	-100	-28
3	外食	182	-70	-21
4	旅行	170	-31	-2
5	飲料	131	-51	-16
6	書籍・エンタメ	116	-40	-23
7	化粧品	110	-38	-13
8	家電・AV	105	-12	±0
9	レジャー	104	-12	-9
10	理美容	91	-43	-7
11	日用品	90	-43	-22
12	パソコン・タブレット・周辺機器	79	+8	+15
13	装飾品	64	-19	-26
14	スマートフォン・携帯電話	53	-6	-1
15	インテリア用品	48	-43	-36
16	車・バイク	41	-8	+2

順位	カテゴリー	1月(人数)	前月比	前年比
1	旅行	87	-4	-1
2	食品	85	-28	±0
3	ファッション	82	-12	+1
3	外食	82	-20	-10
5	家電・AV	69	+4	+9
6	飲料	68	-1	+3
7	書籍・エンタメ	61	-13	-6
8	パソコン・タブレット・周辺機器	57	+11	+15
9	レジャー	56	+11	+9
10	スマートフォン・携帯電話	39	+4	+7
11	車・バイク	34	±0	+2
12	装飾品	29	+2	-7
13	日用品	28	-12	-4
14	理美容	27	±0	+9
15	化粧品	22	+4	+1
16	インテリア用品	18	-17	-14

順位	カテゴリー	1月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	131	-40	-41
2	食品	112	-72	-28
3	外食	100	-50	-11
4	化粧品	88	-42	-14
5	旅行	83	-27	-1
6	理美容	64	-43	-16
7	飲料	63	-50	-19
8	日用品	62	-31	-18
9	書籍・エンタメ	55	-27	-17
10	レジャー	48	-23	-18
11	家電・AV	36	-16	-9
12	装飾品	35	-21	-19
13	インテリア用品	30	-26	-22
14	パソコン・タブレット・周辺機器	22	-3	±0
15	スマートフォン・携帯電話	14	-10	-8
16	車・バイク	7	-8	±0

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。																												
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏																												
調査対象者	20～69歳の男女																												
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付																												
サンプル数	合計1,500人																												
	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>20代</th><th>30代</th><th>40代</th><th>50代</th><th>60代</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>男性</td><td>122</td><td>143</td><td>187</td><td>169</td><td>136</td><td>757</td></tr><tr><td>女性</td><td>118</td><td>139</td><td>183</td><td>164</td><td>139</td><td>743</td></tr><tr><td>合計</td><td>240</td><td>282</td><td>370</td><td>333</td><td>275</td><td>1,500</td></tr></tbody></table>		20代	30代	40代	50代	60代	合計	男性	122	143	187	169	136	757	女性	118	139	183	164	139	743	合計	240	282	370	333	275	1,500
	20代	30代	40代	50代	60代	合計																							
男性	122	143	187	169	136	757																							
女性	118	139	183	164	139	743																							
合計	240	282	370	333	275	1,500																							
調査方法	インターネット調査																												
調査時期	2022年12月1日(木)～5日(月) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)																												
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ																												

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、12/21日付で「2022年12月 新型コロナウイルスに関する生活者調査」を発表いたしました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2022/12/20221221-01.pdf>

こちらは、毎月第3～4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室 山田 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2023-01/>)からダウンロードしていただけます。